

近藤忍後援会 2008 年活動報告書

発行責任者
後援会長 江野澤政広



作年中も、後援会に変わらぬご理解を頂き有り難うございます。
近藤忍も議員になり 2 度目の冬を迎えました。今回も 2008 年の一年間をまとめて、議員活動の報告を行わせていただきます。

なお、本来であれば年頭に新年の挨拶も兼ねて行いたいところではありますが、公職選挙法の解釈が微妙なため、このような形式となったことをご理解いただければ幸いです。

後援会長 江野澤政広

1 . 定例議会での活動報告

昨年に引き続き、近藤忍は全ての定例議会で市制改革のために質問を行いました。概要は次の通りです。

3 月定例議会：「都市イメージの向上について」

木更津市の都市イメージを高めるため、アクアライン深夜バスの運行、かずさアカデミアパークで行われる国際会議を市内観光につなげる手法、区画整理によって供給される優良宅地の活用、恵まれた自然環境を活かすため環境問題への取組、安心できる食料生産力を P R するための地産地消の推奨、郷土資料館を利用した地域の歴史的財産の活用等について質問しました。

多くの視点からの質問でしたが、学校給食の中で米飯は地元米を使うことや、民間企業の自然エネルギー利用に対する行政の支援などに、前向きな回答を得ました。

6 月定例議会：「下水道の広域化・戸籍事務の電子化について」

今後予定されている君津四市と広域水道企業団の統合に向けた問題点や組織の在り方について、公平感と透明性を高めるための諸方針について質問しました。事業体の統合はまだ先の話ですが、新しい組織が出来る前に制度設計をしっかりと行うことや事前に申請事務などを共通化する事を求めました。

また、戸籍事務の電算化の目的や将来的に問題が生じないかという観点から質問を行いました。



9 月定例議会：「学校の耐震と再編・土木財産の維持管理・健康増進施設の運営について」

国の法律改正に伴い、本市の学校耐震事業の展開をどの様に変更するつもりか質問を行いました。より危険度の高い学校から補強をする方向に変更となる中で、補強設計が終わっている高柳小学校や祇園小学校について平成 2 1 年度の改修予定を先送りする事に対しては見直しを求めましたが、厳しい予算の中では方針を覆すことは困難でした。

さらに、生徒数が減る中で全ての校舎を改修する必要もないという視点から学校規模適正化に向けた取組を追求し、今年度中に検討委員会を設置する旨の回答を得ました。その他には土木的財産である橋梁の維持管理や健康増進センターの運営の効率化についての質疑を行いました。

1 2 月定例議会：「子供の育成施策・高度情報化施策について」

私立幼稚園の施設に余裕がある中で、コストの高い公立保育園との役割分担を考え直し、子供の育成に必要な予算を有効に活用すべきと考え質問を行いました。次世代育成支援行動計画についても年度内に検討委員会を設置して検討を進めるという回答を得ました。

また、情報の電子化を進めることを求めてホームページの有効利用や予算資料等の電子化を進めるよう提案するなど、諸問題の指摘を行いました。

2. 委員会等における活動報告

基地対策特別委員会では副委員長として、自衛隊周辺土地の有効利用を目指し、江川総合運動公園の拡張事業に取り組んでまいりました。

建設常任委員会では、金田地区の開発問題や公共下水道の区域拡大、市営住宅事業等について検討してまいりました。

広報委員会では平成21年2月号からの広報紙のA4化に合わせて紙面構成を見やすくする工夫を重ねてまいりました。

フォーラム未来会の中では、若手でワーキングチームを作って検討を進め会派として12月に市長に対し5項目の提言を行いました。



広報委員会作業風景

3. 地域等における活動報告

議会以外での諸公式行事や、地域の総会や敬老会、文化祭等に参加するなかで、市民の意見や要望をくみ取り、それを行政に伝えてきました。また、有志議員による行政の勉強会も実行してきました。更に定例議会以外でも必要に応じ市役所担当部局に対して問題点の指摘や提言を行ってきました。

4. 2009年の市政と課題

- ・ 2008年後半より顕著になった景気後退の中で、大幅な歳入不足が予想されています。無駄遣いを省き、少ないコストで大きな成果を得られるように知恵を使う方法を検討し、提言します。
- ・ 江川総合運動公園の拡張事業については、市による基本設計が終わり、防衛省と財務省の予算折衝という国家レベルの段階に進みますが、基地対策委員会の副委員長であり地元の議員である立場から事業化の採択に向けた環境整備に取り組んでまいります。
- ・ 金田東地区で進出企業が発表され、街づくりに向けた機運が高まることとなります。千葉県が施工する金田西地区や千束台などのように区画整理事業における諸問題も多く残りますが、技術者の視点と経験を持つ議員として解決を目指していきます。
- ・ 引き続き学校の耐震補強事業について注視してまいります。また、子供の数はピーク時から半減しながら学校数の変動が無い中で競争が少ない教育環境に成っている事などを踏まえ、学校の再編問題にも取り組むとともに、学校用地の処分についても議論を進めてまいります。
- ・ 快速列車の巖根駅停車や高速バスの夜間運行などの様に、木更津市の交通環境を改善することで市民生活が向上するよう求め続けていきます。
- ・ 市役所を最大のサービス産業として見直す視点から、電子化の推進や休日開庁などを念頭に、どうすれば市民にとって使いやすくなるか検討を進め、提言を進めてまいります。
- ・ 政治家としての透明性を高めるため、ホームページ(<http://sinobu.com/>)や、後援会報告で活動情報の開示を進めるとともに、市民の代理人として行政に働きかけていきます。

5. 後援会の案内と入会のお誘い

年賀状及び挨拶状を本人から郵送することは公職選挙法に違反するため、昨年に引き続き本年も後援会より会員に対して活動の報告をさせていただきます。本書が届くことにお心当たりのない方は、恐れ入りますが下記まで連絡下さい。

また、近隣や知人で後援会入会希望者が居ましたら、氏名、住所、電話番号等をお知らせ下さい。連絡の方法は後援会事務所を訪問戴くか、郵送・電話報告、FAX、メール等の方法にてご連絡下さい。

住所 木更津市江川 847、TEL 0438-41-1605、FAX 0438-41-1606、メール info@sinobu.com